

2016年8月20日(土) 月刊ケア9月号 掲載

かわらばん『屋外での歩行リハビリテーションを開始』

リハビリテーション科 相馬 栄大 主任技士

屋外での歩行リハビリ テーションを開始

函館中央病院

函館中央病院（函館市）は、7月19日から屋外での歩行練習を中心としたリハビリテーションを開始した。対象となるのは、自宅退院が決まった入院患者さん。

「屋外の範囲は、今のところ病院周辺の歩道が中心です。玄関を出るとスロープや段差があり、病院前には横断歩道、信号機もあります。人とすれ違ったり、信号待ちなど退院に向けてより実践的なリハビリが可能です」とリハビリテーション科の相馬栄大主任技士。今年度の診療報酬改定で施設外での訓練が認められたが、屋外でのリハビリはもともと患者さんの要望だったという。

「リハビリ室での歩行と、凹凸のある歩道では感覚が大きく異なります。安全性に十分配慮しながら復帰に向けたリハビリを進めていきたい」という。



屋外で、より日常生活に近い
リハビリが可能に